



17日間の熱戦に幕！



夏休みも気づけばあと1週間となりました。みんな、元気に過ごしていますか？夏休みの宿題に最後の追い込みをかけている人も多いのではないのでしょうか。この夏、校長先生が楽しみにしていたパリオリンピックも1週間前に17日間の熱戦に幕が下ろされました。閉会式は日本時間の12日に行われ、4年後の開催都市・ロサンゼルスにオリンピックの旗が引き継がれました。閉会式は日本時間の12日の午前4時すぎから始まり、各国や地域の旗手が入場したあと選手たちが一斉に会場に入りました。

この中では大会のハイライト映像が流されたほか、今大会で初めて陸上の最終種目となった女子マラソンの表彰式も行われました。そして、パリから次の2028年の開催都市のロサンゼルスにオリンピックの旗を引き継ぐセレモニーが行われ、ハリウッド俳優のトム・クルーズさんがスタジアムの屋根の上からステージ上に飛び降りて登場すると大きな歓声が上がりました。そして、今大会、金メダル4つを獲得した地元・フランスの競泳のレオン・マルシャン選手が小さなランタンに入った聖火を会場に運び入れ、IOC＝国際オリンピック委員会のバッハ会長の閉会宣言とともに最後は聖火が吹き消されました。3時間余り行われた閉会式は現地時間の12日午前0時すぎに終了し、17日間に渡ったスポーツの祭典が閉幕しました。8月28日にはパリパラリンピックが開幕します。

今回のオリンピックも様々な種目で感動するシーンがたくさんありました。勝ち負けを超越してスポーツのすばらしさを改めてみんなも知れたのではないのでしょうか。そんな中である選手の言葉に深く感動しました。それはスケートボード女子パークで東京五輪金メダリストの四十住さくら選手の言葉です。彼女は予選は79.70点で10位。予選上位8人による決勝進出を逃しました。彼女は自らの3本のランを終えた直後のインタビューで「めっちゃ2連覇しようと思って来たので、ワン、ツー、スリーのなかにいたかったんですけど……。最後まであきらめずに、でも**人の失敗は祈りたくない**ので」と複雑な心境を口にした。他の選手が失敗すれば、自分が決勝に進めるかもしれないぎりぎりの状況でのこの言葉に本当に素晴らしい選手であり、心の大きな素晴らしい人だなあと感じました。みんなはどう思いますか。

